

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 03-6734-2939																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																						
商業実務	商業実践専門課程	トラベル科				平成22年文部科学省告示第31号	-																						
学科の目的	多様化する観光業界で必要とされる専門知識、専門資格、技能を備え、実社会で通用する人材の育成を目標とする。																												
認定年月日	平成26年3月31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技																					
	2年 昼間		1764時間	1485時間	540時間	168時間	0時間	0時間	単位時間																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数		兼任教員数		総教員数																					
80人		60人	4人	2人		16人		18人																					
学期制度	■前期:4月1日~8月31日 ■後期:9月1日~3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価																							
長期休み	■夏季:8月8日~9月11日 ■冬季:12月24日~1月10日 ■春季:3月14日~4月3日				卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。				課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 航空、鉄道、船舶、旅行、ホテル等				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に係る平成29年5月1日時点の情報)																							
	■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内旅行業務取扱管理者</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>総合旅行業務取扱管理者</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>国内旅程管理主任者</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>AXESS検定実用試験国際線3級</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	国内旅行業務取扱管理者	③	38人	17人	総合旅行業務取扱管理者	③	38人	10人	国内旅程管理主任者	③	38人	38人	AXESS検定実用試験国際線3級	③	38人	36人
	資格・検定名	種	受験者数	合格者数																									
	国内旅行業務取扱管理者	③	38人	17人																									
総合旅行業務取扱管理者	③	38人	10人																										
国内旅程管理主任者	③	38人	38人																										
AXESS検定実用試験国際線3級	③	38人	36人																										
■卒業者数: 38人 ■就職希望者数: 36人 ■就職者数: 34人 ■就職率: 94.4% ■卒業者に占める就職者の割合: 89.5%				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																									
■その他 ・進学者数: 0人 (平成28年度卒業者に係る平成29年5月1日時点の情報)				■自由記述欄																									
中途退学の現状	■中途退学者: 1名 平成28年4月1日時点において、在学者78名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者77名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等				■中退率: 4.6%																								
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。				■専門実践教育訓練給付: 前年度給付対象者なし																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																												
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.asoju.ac.jp/aftc/subject/tourism/">http://www.asoju.ac.jp/aftc/subject/tourism/</a>																												

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により、実践的かつ専門的な職業教育を実践することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、旅行、鉄道業界において必要とされる知識・技術の修得を目指す。

実践の機会として設定する企業インターンシップでは、職業像と必要適性を明確にし、各自の具体的なキャリアプランを構築するための取り組みとする。また実務を経験し、適切な指導・評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。

委員会は、次の事項を審議し、会議の結果をカイキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任が主催するカリキュラム会議において、教育課程編成委員会からの報告内容を参考にして学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H29/4/1～H30/3/31	①
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H29/4/1～H30/3/31	①
木村 弘	株式会社トップスタッフ九州支店 主任	H29/4/1～H30/3/31	③
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H29/4/1～H30/3/31	③
三笥 秀一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	H29/4/1～H30/3/31	
若松 昌枝	麻生外語観光&製菓専門学校 トラベル科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数)

年2回(6月・10月)

(開催時期)

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～16:50  
平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～16:30  
平成29年度 第1回 平成29年6月21日 16:30～16:50  
平成29年度 第2回 平成29年10月18日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

旅行業界における人材像に関する意見として業界で働くレベルの地理知識の必要性を受け、2年次に地理の再学習させる観光資源をテーマとしたカリキュラムの追加。

また業務上で必要となる英会話や、英文のItinerary、現地ランドオペレーターからの資料の読み取りなど、語学力(英語力)向上のための科目もカリキュラムに反映。あわせて今後は緊急時の対応知識や救急救命の知識を身につけさせるような科目も組み込んで行く予定。

以上のことにより、より即戦力となる人材の育成に努める。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的、かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。

その内容については、旅行・鉄道業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

海外、国内商品分析に関する授業科目の担当教員は学校と企業が締結している契約書に基づいて、企業側講師にて、実際の旅行パンフレットを使用し、その情報の分析や販売時における要点、販売手法を講義及び評価している。また、担当者による学生の学修成果の評価を踏まえ、内容の習得度、理解度は企業側講師作成による期末の試験を行い、担当教員が成績評価を行う。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ
国内商品分析	国内旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。

定期的な企業からのヒアリングや旅行会社、関連企業の企業説明会に参加し情報収集することにより、旅行、鉄道業界の現状を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

### (2) 研修等の実績

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: JTB総合研究所意見交換会

講師: 山崎誠(観光教育事業部営業部担当部長)

目的: 国家試験の内容を分析し、次年度の学生への教科指導、国家試験対策の方向性を検討するため(高校、大学、短大、専門学校等の国家試験担当教員対象)

内容: 今年度の国内旅行業務取扱管理者試験及び総合旅行業務取扱管理者試験の特徴と傾向の解説と授業構成の考察

日程: 平成28年12月8日

研修主催: JTB総合研究所

研修名: 第23回新学期研究会

講師: 山崎誠(観光教育事業部営業部担当部長)、他業界関係者セミナー講師

目的: 業界の求めている人材(特に業界知識面)の把握をし、次年度の各授業シラバスの参考とするため(高校、大学、短大、専門学校等の国家試験担当教員対象)

内容: 次年度国家試験の対策講座、新テキストによる学生への教授方法の習得、スポーツ地域振興(スポーツツーリズム)に関するセミナー

日程: 平成29年3月3日

研修主催: JTB総合研究所

## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: インストラクショナルデザイン I

講師: 岡村 慎一氏(専門学校YICグループ)

目的: インストラクショナルデザインを用いた体系的なカリキュラム、シラバスの開発方法を習得する。

内容: インストラクショナルデザインの概要、学習目標の明確化、効果測定と評価。

日程: 平成29年2月16日 9:00～17:30

研修名: インプレッショントレーニング

講師: 重太みゆき(印象行動学者)

内容: サービス業における顧客対応スキルの向上についての学生指導法

対象: 新任・中堅教員

日程: 平成29年2月11日

## (3) 研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: JTB総合研究所意見交換会

講師: 山崎誠(観光教育事業部)

目的: 国家試験の内容を分析し、次年度の学生への教科指導、国家試験対策の方向性を検討するため

(高校、大学、短大、専門学校等の国家試験担当教員対象)

内容: 今年度の国内旅行業務取扱管理者試験及び総合旅行業務取扱管理者試験の特徴と傾向と次年度授業の考察

日程: 平成29年12月7日

研修主催: JTB総合研究所

研修名: 第24回新学期研究会

講師: 山崎誠、仲田耕太郎(観光教育事業部)

目的: 業界の求めている人材(特に業界知識面)の把握をし、次年度の各授業シラバスの参考とするため

(高校、大学、短大、専門学校等の国家試験担当教員対象)

内容: 第1部: 2018年度テキスト改訂概要 第2部: 国家試験対策実践事例共有講座

日程: 平成30年3月2日

研修主催: JTB総合研究所

### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: カウンセリング I

講師: 廣田 哲成氏(日本交流分析協会 准教授)

内容: 学生への話し方、面談の仕方、指導の仕方の基本的なルール、注意点を学ぶ。

日程: 平成29年5月17日 16:00～17:30

研修名: カウンセリング II

講師: 廣田 哲成氏(日本交流分析協会 准教授)

内容: ロールプレイングによるケーススタディで、個別面談の仕方を学ぶ。

日程: 平成29年5月24日 16:00～17:30

5月25日 16:00～17:30

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。

また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

### (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他

(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5)学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11)国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

資格取得、就職に関する目標設定、進捗状況の適正なチェックが行われていると評価を頂く。今後は企業からの意見を学生へフィードバックできる体制を構築していくことを検討していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
村山 聖子	平成28年度入学プライダル・ウエディング科2年生 保護者	H28/4/1～H30/3/31	保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
高島 妙美	平成21年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H29/4/1～H31/3/31	自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校	H29/4/1～H31/3/31	校長
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H29/4/1～H31/3/31	団体
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H29/4/1～H31/3/31	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
長 加奈子	福岡大学 准教授	H28/4/1～H30/3/31	教育機関
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長	H29/4/1～H31/3/31	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	H29/4/1～H31/3/31	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H29/4/1～H31/3/31	企業
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当	H28/4/1～H30/3/31	企業
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H29/4/1～H31/3/31	企業

古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H28/4/1～H30/3/31	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H28/4/1～H30/3/31	企業
藤田 敦子	ロイヤルホールディング株式会社 人事課長	H29/4/1～H31/3/31	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H28/4/1～H30/3/31	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年9月 )

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校法人の沿革、教育の目標、学則、諸規程
(2)各学科等の教育	学科の教育方針、年次別目標、目標資格、カリキュラム、進級・卒業要件、他
(3)教職員	教員一覧、専任・兼任教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	グローバルシティズンベーシック、インターンシップ、教育課程編成委員会
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、ボランティア活動、クラブ活動
(6)学生の生活支援	臨床心理士による学生相談室、ハラスメント相談、留学生支援、障がい者支援
(7)学生納付金・修学支援	金額・納付時期、分割納入制度、授業料減免、奨学金、被災地支援
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生専用学生寮
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

パンフレット、募集要項、学生便覧、Webサイト

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程トラベル科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			旅行業法	国家試験科目である、旅行業における法律など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			旅行業約款・各種約款	国家試験科目である、旅行業と旅行者の取消料や責任範囲など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○	○			
○			国内地理対策	国家試験科目であり、観光地・お土産・名物料理など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			国内運賃料金	国家試験科目である、JR・航空・バス・フェリー・宿泊などの運賃/料金計算や払い戻しなど専門科目を学び国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○		○		
○			国際航空運賃Ⅰ	国家試験科目である、国際航空運賃の計算方法や、タリフの見方など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			出入国実務Ⅰ	国家試験科目である、旅券の申請・受領や検疫、免税品など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			海外実務Ⅰ	国家試験科目である、OAG時刻表・トーマスクック時刻表の見方や、時差計算など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			海外地理対策Ⅰ	国家試験科目である、首都や観光地など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○		○		
○			総合旅行業務取扱管理者対策Ⅰ	国家試験対策として、国際航空運賃、出入国実務、海外実務、海外観光資源の再学習を行い資格取得を目指す。	1後	30	2	○			○	○			
○			観光概論	学科が目指すべき業界の業務内容・職種・企業の研究を行い、自身の就職活動の方向性を認識させ、次年度の就職活動に活かす。	1後	15	1	○			○	○			

○		観光演習	時刻表（JR・航空）などを活用し、お客様に対する的確な情報伝達手段を取得し、地図を活用した基礎的なプランニングについて学ぶ。	1 後	15	1	△	○	○	○								
○		国内研修	長距離フェリーを使用し、0泊3日の研修旅行を関西にて実施。現地滞在中の研修プログラムは出発前にグループワークにて作成し、所要時間など現場で検証し実務について学ぶ。	1 前	24	0		○	○	○								
○		AMADEUS SI	航空券予約、運賃計算、発券方法等についてアマデウスアルティアを操作し出来るようになる。またSpecialistを取得する	1 後	45	3	△	○	○	○								
○		取扱管理者合宿	夏季補講の後半に集中講義の一環として、2泊3日の合宿を実施。主に地理などの苦手分野の集中講義を実施し、国家試験合格を目指す。	1 前	30	2	○			○	○							
○		添乗実務	添乗員の資格である、旅程管理主任者試験の学科科目について学び、試験対策をし、業務内容や業務の流れについて理解する。 ※添乗実務、鉄道業界概論のいずれか1科目を選択。	1 後	45	3	○	△	○									
○		鉄道業界概論	鉄道業界を中心にJR各社の特徴や私鉄の種類を学習。また、就職活動を見据えた鉄道業界の知識を深める。 ※添乗実務、鉄道業界概論のいずれか1科目を選択。	1 後	45	3	○	△	○									
	○	海外研修	日本人の人気渡航先で、福岡から直行便が出ている東南アジアを目的地として設定。現地滞在中の研修プログラムは出発前にグループワークにて作成し、所要時間など現場で検証し実務について学ぶ。	1 後	64	1			○	○	○							
○		一般教養ⅠA	国語・数学・社会（時事）・英語を総合的に学習し、一般常識について復習する。	1 前	30	2	○			○								
○		一般教養ⅠB	国語・数学・社会（時事）・英語を総合的に学習し、一般常識について復習する。1年次より就職試験を意識させ動機付けに繋げる。	1 後	30	2	○			○								
○		国家試験対策英語	総合旅行業務取扱管理者の出題分野である語学科目対策。海外実務分野の底上げを行い、国家試験合格を目指す。	1 前	30	2	○			○								
○		観光英語	観光英語検定取得を軸に置き、併せて旅行業界に必要なビジネス英語知識を学習。	1 後	30	2	○			○								





○		観光業界時事	観光業界の現状と今後の展望について学び、旅行業に限らず、航空・鉄道・バスなど旅行を構成する業界の現状について理解する。	2前	30	2	○			○								
○		海外観光地理ⅡA	現場に必要な観光地・お土産・名物料理など映像を使用しながら、様々な切り口で現地を学ぶ。(前期)	2前	30	2	○			○								
○		海外観光地理ⅡB	現場に必要な観光地・お土産・名物料理など映像を使用しながら、様々な切り口で現地を学ぶ。(後期)	2後	30	2	○			○								
○		観光実地研究	クラス行事となる日帰り研修旅行の行程・見積り作成後、クラス内でのプレゼンテーションを実施。プラン決定後、旅行会社との打ち合わせも学生主体で実施し、旅行の流れを学ぶ。	2後	15	1	△			○								
○		卒業制作	業界の学習の集大成としてオリジナルパンフレットの作成や商品プレゼン資料の作成演習	2後	30	2	△			○								
○		海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げる	2前	30	2				○							○	○
○		国内商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げる	2後	30	2				○							○	○
○		カウンター接客演習	旅行業における実践的なカウンターでの接客技術を学ぶ。	2前	30	2	△			○							○	
○		AMADEUSⅡ	航空券予約、運賃計算、発券方法等についてアマデウスアルティアを操作し出来るようになる。またAir Expertを取得する。	2前	45	3	△			○							○	
○		国内プランニング実務	旅行業界で国内のパンフレット作成の際に必要なプランニングの知識・技術を身につけ、業界就職の際に現場で活かす。	2後	15	1	△			○							○	
○		インバウンド概論	旅行業界におけるインバウンド事業の内容と現状を学習する。	2後	30	2	○			○								○
○		ディスプレイ演習	店舗づくり、POP、パンフレットの作成技術を学ぶ。	2後	30	2				○								○
○		旅行業実務	仕事上重要なコンプライアンスの知識、現場に必要な最低限の観光地・お土産・名物料理などの内容を再学習する。	2後	30	2	○			○								○

○	国際航空運賃Ⅱ ※A	国家試験科目である、国際航空運賃の計算方法や、タリフの見方など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○		○			
○	出入国実務Ⅱ ※A	国家試験科目である、旅券の申請・受領や検疫、免税品など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○		○			
○	海外実務Ⅱ ※A	国家試験科目である、OAG時刻表の見方や、時差計算など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○				○	
○	海外地理対策Ⅱ ※A	国家試験科目である、首都や観光地など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○				○	
○	総合旅行業務取扱管理者対策Ⅱ ※A	国家試験対策として、国際航空運賃、出入国実務、海外実務、海外観光資源の再学習を行い資格取得を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2	○			○				○	
○	ビジネス文書 ※B	仕事上で必要なビジネス文書の基礎を学び、ビジネス文書検定の取得を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○				○	
○	手話入門 ※B	基本的な手話を習得し、聴覚障害者とのコミュニケーションが図れるようになる。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○				○	
○	インターネット旅行情報検索 ※B	インターネットの基礎知識を学び、旅行情報を収集、整理、資料作成の技術を習得する。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2	○	△		○				○	
○	ニューツーリズム概論 ※B	グリーンツーリズムを中心にエコツアー、産業観光など、様々な旅行形態の概要を知る。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○				○	

○	セールス実務 ※B	営業職に限らず、旅行業でのカウンターや広く接客業での最低限の知識を身につけ、社会に役立つスキルを身につける。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2	○	△	○	○
○	一般教養ⅡA	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる応用力を養成。	2前	30	2	○		○	○
○	一般教養ⅡB	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社後において必要な一般知識の学習。	2後	15	1	○		○	○
○	ビジネス実務Ⅱ	ビジネス実務検定(ジョブパス)対策を通して、現場で活用できるビジネススキルを身につける。	2前	30	2	○		○	○
○	社会教養ⅡA	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2前	30	2	○		○	○
○	社会教養ⅡB	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2後	30	2	○		○	○
○	サービス介助	高齢者の方々、お体の不自由な方々に対するサービスにおいて、ケアの基本的動作を勉強し、社会に役立つサービススキルを学ぶ。	2後	30	2	△	○	○	○
○	ソーシャルスタディ	健康維持、体力向上を図ることを目的に、スポーツを取り入れることで、気分の充実を図る。文化教養に触れることで知識の習得と社会的視野を広げることを目的とする。	2後	30	2	△	○	○	○
○	業界ビジネス英語A	添乗業務や予約業務等の旅行業界で業務をしていく様々な場面を想定し、必要な英語知識を学習。	2前	30	2	○		○	○
○	業界ビジネス英語B	添乗業務や予約業務等の旅行業界で業務をしていく様々な場面を想定し、必要な英語知識を学習。	2後	30	2	○		○	○
○	GCBⅡ	就職動機や将来のキャリアビジョンを自分の言葉で表現できるように志を立てていく土台を築かせる。	2前	15	1	○		○	○
○	旅行会話(英会話)	日常の英会話の基本から、旅行業界に必要なサービス会話を中心に学ぶ。	2前	30	2	○		○	○

○	旅行会話（韓国語）	ハングル文字等、韓国語の基礎を学び、簡単な日常会話レベルの韓国語習得を目指す。	2前	30	2	○			○			○
	○	実用英語対策Ⅱ	観光英語検定取得を軸に置き、旅行業界で必要な英語知識を学習する。	2後	30	2	○			○		○
合計			59科目	1764単位時間（ 116単位）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週